



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月28日

上場会社名 東京産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8070 URL http://www.tscom.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 蒲原 稔 (TEL) 03-5203-7841
 四半期報告書提出予定日 2020年9月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	22,055	△20.0	382	△45.2	554	△34.1	315	△46.1
2020年3月期第1四半期	27,580	—	697	—	841	—	584	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 438百万円(30.3%) 2020年3月期第1四半期 336百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.71	—
2020年3月期第1四半期	21.73	—

(注) 2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	76,041	24,946	32.8
2020年3月期	70,611	24,882	35.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 24,946百万円 2020年3月期 24,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	110,000	11.6	2,300	△14.7	2,500	△15.9	1,700	△22.0
								63.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	28,678,486株	2020年3月期	28,678,486株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,740,321株	2020年3月期	1,757,243株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	26,931,015株	2020年3月期1Q	26,908,448株

(注) 当社は、株式付与ESOP信託及び役員報酬BIP信託を導入しており、各信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴うインバウンド需要の消失や企業や個人の活動自粛などにより、急速な減速傾向が見られる厳しい状況となりました。また、国外においても、各国で行動制限や店舗閉鎖など経済活動を抑制する動きがみられ、依然として国内外の景気の深刻な落ち込みが懸念される状況となっています。

このようななか、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ55億24百万円減少の220億55百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

売上総利益は17億55百万円（前年同四半期比2億75百万円減、13.6%減）、営業利益3億82百万円（前年同四半期比3億15百万円減、45.2%減）、経常利益5億54百万円（前年同四半期比2億87百万円減、34.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億15百万円（前年同四半期比2億69百万円減、46.1%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

従来、「電力事業」「化学・環境事業」「電子精機事業」「生活関連事業」の4つのセグメントに区分しておりましたが、シナジー効果の発揮を目的とした組織再編を実施し、当第1四半期連結累計期間より、「化学・環境事業」と「電子精機事業」を統合し、「環境・化学・機械事業」へ変更しております。これは、顧客の要望に対し複数セグメントの商品群を複合的に提案する必要性から、事業本部を見直したことに伴う変更であります。

また、取り扱う商品群の変化に合わせて「生活関連事業」の報告セグメント名称を「生活産業事業」に変更しております。

なお、第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(電力事業)

売上高は113億8百万円と前年同四半期に比べ54億4百万円の減少となっております。また、セグメント利益は85百万円と、前年同四半期に比べ3億3百万円の減少となりました。

(環境・化学・機械事業)

売上高は89億35百万円と前年同四半期に比べ1億74百万円の減少となっております。また、セグメント利益は2億31百万円と、前年同四半期に比べ5百万円の減少となりました。

(生活産業事業)

売上高は17億79百万円と前年同四半期に比べ55百万円の増加となっております。また、セグメント利益は54百万円と、前年同四半期に比べ6百万円の減少となりました。

(その他)

売上高は32百万円と前年同四半期に比べ1百万円の減少となっております。また、セグメント利益は11百万円と、前年同四半期に比べ0百万円の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、760億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して54億29百万円の増加となりました。主な要因として、前渡金の増加等により流動資産が45億83百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は510億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して53億64百万円の増加となりました。この主な要因は、前受金の増加等により流動負債が34億33百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は249億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して64百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は32.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響を合理的に算出することが困難なことから未定としておりましたが、この度連結業績予想の開示が可能となりましたため、公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,851	9,134
受取手形及び売掛金	20,914	18,187
有価証券	1,000	1,000
商品	1,000	904
前渡金	12,690	17,587
未収入金	6,347	6,407
その他	3,006	3,172
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	51,796	56,380
固定資産		
有形固定資産	10,963	11,721
無形固定資産	62	49
投資その他の資産		
投資有価証券	4,074	4,156
その他	3,723	3,743
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,788	7,890
固定資産合計	18,814	19,660
資産合計	70,611	76,041
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,454	7,277
受託販売未払金	6,160	5,823
短期借入金	5,644	5,780
未払金	6,985	6,094
未払法人税等	589	93
前受金	12,573	18,958
引当金	437	208
その他	463	504
流動負債合計	41,307	44,741
固定負債		
長期借入金	2,602	4,417
退職給付に係る負債	10	10
引当金	292	276
その他	1,516	1,648
固定負債合計	4,421	6,352
負債合計	45,729	51,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,822	2,822
利益剰余金	18,809	18,716
自己株式	△670	△662
株主資本合計	24,404	24,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	849
繰延ヘッジ損益	△37	△6
土地再評価差額金	36	62
為替換算調整勘定	△21	△31
退職給付に係る調整累計額	△265	△246
その他の包括利益累計額合計	477	626
純資産合計	24,882	24,946
負債純資産合計	70,611	76,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	27,580	22,055
売上原価	25,549	20,299
売上総利益	2,031	1,755
販売費及び一般管理費	1,333	1,373
営業利益	697	382
営業外収益		
受取利息	2	16
受取配当金	152	157
その他	18	37
営業外収益合計	173	211
営業外費用		
支払利息	9	16
為替差損	19	8
その他	0	15
営業外費用合計	29	39
経常利益	841	554
特別利益		
受取保険金	—	194
特別利益合計	—	194
特別損失		
固定資産処分損	—	34
固定資産売却損	—	80
固定資産圧縮損	—	89
投資有価証券評価損	—	38
減損損失	—	45
特別損失合計	—	289
税金等調整前四半期純利益	841	459
法人税等	256	144
四半期純利益	584	315
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	584	315

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	584	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164	83
繰延ヘッジ損益	△73	30
為替換算調整勘定	—	△9
退職給付に係る調整額	△9	19
その他の包括利益合計	△247	123
四半期包括利益	336	438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336	438
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力事業	環境・化学 ・機械事業	生活産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,713	9,109	1,723	27,546	34	27,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,713	9,109	1,723	27,546	34	27,580
セグメント利益	388	236	60	685	11	697

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	685
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	697

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力事業	環境・化学 ・機械事業	生活産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,308	8,935	1,779	22,023	32	22,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,308	8,935	1,779	22,023	32	22,055
セグメント利益	85	231	54	370	11	382

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	370
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	382

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境・化学・機械事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、45百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「電力事業」「化学・環境事業」「電子精機事業」「生活関連事業」の4つのセグメントに区分しておりましたが、シナジー効果の発揮を目的とした組織再編を実施し、当第1四半期連結累計期間より、「化学・環境事業」と「電子精機事業」を統合し、「環境・化学・機械事業」へ変更しております。これは、顧客の要望に対し複数セグメントの商品群を複合的に提案する必要性から、事業本部を見直したことに伴う変更であります。

また、取り扱う商品群の変化に合わせて「生活関連事業」の報告セグメント名称を「生活産業事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報」に記載しております。